

# 熊本地震からの創造的復興への「軌跡」

～全国のNN技術職員の皆様へ 感謝の気持ちを込めて～

大阪府北部を震源とする地震で、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災されたすべての方々にお見舞い申し上げます。

第5号 平成30年6月29日発行

## 【目次】

- 復旧・復興トピックス（平成30年度第1四半期）
- 派遣職員からのたより等
- 熊本地震等の農地等災害復旧事業の進捗状況



## 復旧・復興トピックス（平成30年度第1四半期）

4月15日（日曜日）

### くまもと復旧・復興有識者会議を熊本県庁で開催

この有識者会議は、熊本地震からの創造的復興に向けた歩みを振り返るとともに、熊本が目指すべき姿や、全国に教訓を発信する方策について考えるために開催したもので、五百旗頭真座長（熊本県立大学特別栄誉教授）をはじめとする有識者5人と意見交換を行いました。

県内外から273人が参加する中、蒲島知事から「これまで点で考えてきた創造的復興を、点から線へ、線から面へという新しい観点で考えていきたい。また、全国の災害対応力の向上に貢献するため、対応が上手くいったことも、いかなかったことも発信していきたい。」との発言がありました。



4月16日（月曜日）

【熊本地震本震から2年を迎える】

### 第6回 平成28年熊本地震復旧・復興本部会議を熊本県庁で開催

この会議は、被災された方々の生活再建と被災地の創造的復興のための施策を、県庁の各部局が一体となり、迅速かつ強力に推進していくために設置されたものです。

各部局からの復旧・復興に関する進捗状況報告のほか、今後取り組むべき課題について、県庁全体で情報共有を行いました。なお、NN関係においては、平成31年までに営農を再開することを報告しました。

蒲島知事から、「多くの方々の支援により、熊本の復旧・復興は着実に進んでいるが、『すまいの再建』を中心に、県民一人一人の“心の復興”を果たしていくことが大事である。引き続き、創造的復興を実現するように尽力したい。」との発言がありました。

6月25日（月曜日）

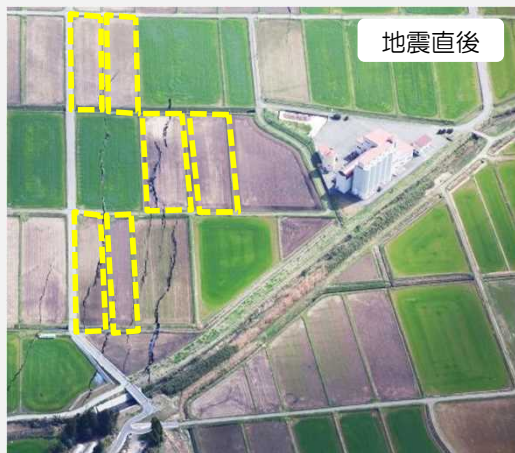
## 阿蘇谷地区の営農再開式典を阿蘇市で開催

阿蘇谷地区（阿蘇市狩尾、的石、赤水地区）では、平成28年熊本地震により、深さ最大3メートルの亀裂や幅30メートルの陥没が生じた計63ヘクタール（受益者86戸）の工事に県営事業として平成29年4月に着手しました。

本地区は農地の「創造的復興地区」として、地震を契機に被災した地域が一体となって将来を見据え、持続可能で安定した農業が展開できるよう、災害復旧と合わせて大区画化や担い手への農地集積、汎用化等の取組みを推進しました。

この度、阿蘇谷地区の県営農地等災害復旧事業に伴う農地の引渡しを行い、3年ぶりの田植えを祝う、「営農再開式典」が開催されました。

なお、当地区の災害復旧工事には、北海道、佐賀県、大分県をはじめ多くの派遣職員の皆様に御尽力いただきました。この場を借りて改めて感謝申し上げます。



生産コストの低減のための大区画化 → 水田の数が、214枚から164枚に集約  
小区画0.25haの圃場を大区画0.89haの圃場に拡大 [最大のケ-入]

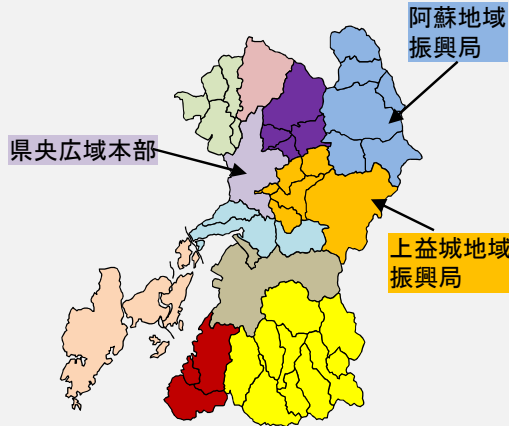
**応援ありがとうございました！  
引き続き御支援の程よろしくお願ひいたします。**



**大規模陥没農地  
（右写真）につい  
ても植付け完了！**



平成30年5月末現在、12名の派遣職員の皆様が本庁及び関係出先機関に勤務されています。



※大切畑ダム復興事務所は現在、県庁北側会議棟3階で仮住まい中

派遣場所	派遣人数（派遣元府県名）
本庁農地整備課	1人（鹿児島県）
大切畑ダム復興事務所※	2人（宮崎県）
県央広域本部	2人（長崎県、鹿児島県）
上益城地域振興局	4人（岐阜県、大阪府、兵庫県、沖縄県）
阿蘇地域振興局	3人（愛媛県、佐賀県、大分県）
計	12人

今回は、本庁農地整備課及び県央広域本部農地整備課に派遣いただいている3名の職員を御紹介します。



武満 俊一郎さん

派遣元所属：鹿児島県北薩地域振興局農村整備課  
派遣先所属：県庁農地整備課防災班



吉原 毅さん

派遣元所属：鹿児島県北薩地域振興局農村整備課  
派遣先所属：県央広域本部農地整備課防災班



山口 正則さん

派遣元所属：長崎県県央振興局土地改良課  
派遣先所属：県央広域本部農地整備課整備班

＜現在の業務内容＞

平成28年度発生団体営災害復旧事業に係る事務

＜職場(仕事)環境について＞

濃い熊本弁が飛び交う新鮮な環境。最高のｽｯｯに囲まれて業務をしています。

＜衣・食・住環境について＞

JR熊本駅のそばに住居があるため、派遣元である鹿児島へは1時間で帰れるという好条件で過ごしています。また、交通網の発達した都市部ということもあり、買い物・食事に不足することはありません。気を付けるのは外食で身体が膨れることへの注意くらいです。

＜今後、派遣で熊本に来られる方へのコメント＞

熊本県では大規模災害が起きた時の対応について、貴重な記録・記憶を見聞きすることができます。一人のマンパワーが熊本県へ与えられる力は米粒ほどですが、得られる経験は絶大です！！

＜現在の業務内容＞

県営農地等災害復旧事業にかかる工事発注・現場監督、及び計画変更等事務手続き関係等

＜職場(仕事)環境について＞

通勤距離は2km程度と、徒歩でも通勤できます。職場は、周りの方々に支えて頂きながら、不自由なく働かせてもらえる環境です。時々、職場のLANが重くなるのは愛嬌でしょうか。

＜衣・食・住環境について＞

住居の間取りは一人暮らしには十分で、一通りの家電も用意して頂き、快適に初めての単身赴任生活を送っています。また、通勤経路が繁華街を通るため、誘惑と戦いながらの日々です。たまに負けますが・・・

＜今後、派遣で熊本に来られる方へのコメント＞

農業土木技術者として熊本地震からの復興に携わることができるとともに、熊本県をはじめ、たくさんの方々との繋がりができます。農家のために、熊本県のために、頑張りましょう。

＜現在の業務内容＞

県営農地等災害復旧事業にかかる工事発注・現場監督、及び計画変更等事務手続き関係等

＜職場(仕事)環境について＞

繁華街に近く、住居からも近いので誘惑は多いですが、問題等は何もありません。

＜衣・食・住環境について＞

駐車場があればよかった。

＜今後、派遣で熊本に来られる方へのコメント＞

衣・食・住環境に不自由はなく、仕事では熊本のシステムに最初は戸惑いましたが、職員の皆さんが快く教えてくれるので心配することは何もありません。

4月10日（火曜日）

派遣職員の方々を対象としたシステム研修会を開催

本研修会においては、業務が円滑に推進できるように「積算システム（RIESA）」「CAL/EC」「タブレット」の概要や基本的な操作方法等について研修を行いました。

今後も、派遣職員の方々を対象とした研修会等を開催していきます。



## 復旧進捗状況

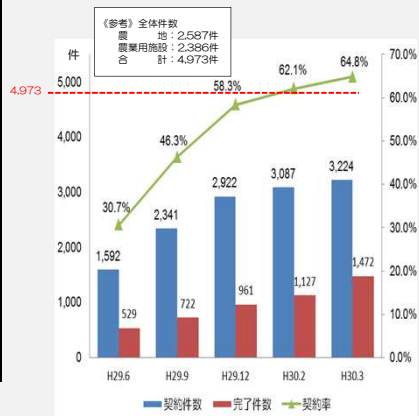
3月末現在の件数とその割合

	復旧予定 件数	契約済み		工事完了	
		件数	契約率	件数	完了率
<b>県営災害 計</b>	<b>184</b>	<b>154</b>	<b>83.7%</b>	<b>12</b>	<b>6.5%</b>
農地	66	60	90.9%	0	0.0%
農業用施設	118	94	79.7%	12	10.2%
<b>団体営災害 計</b>	<b>4,789</b>	<b>3,070</b>	<b>64.1%</b>	<b>1,460</b>	<b>30.5%</b>
農地	2,521	1,615	64.1%	692	27.5%
農業用施設	2,268	1,455	64.2%	768	33.9%
<b>県営+団体営 計</b>	<b>4,973</b>	<b>3,224</b>	<b>64.8%</b>	<b>1,472</b>	<b>29.6%</b>

契約済み率、工事完了率ともに伸びてきているものの、今後も必要に応じて、不調・不落實策などを講じ、復旧・復興工事の更なる加速化に努めます。

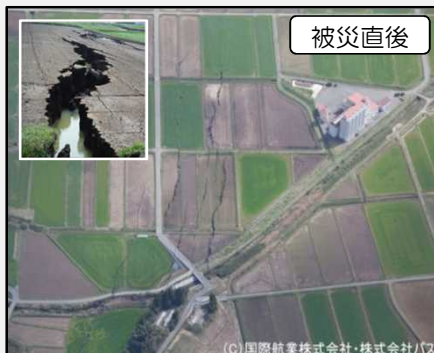
## 災害復旧工事完了件数及び契約件数の推移

3月末現在の件数（県営+団体営）



## 復旧状況写真

農地  
(阿蘇市阿蘇谷地区)



ため池  
(熊本市鬼ため池地区)



農道  
(宇城市三角地区)

